

2011年新年賀詞交歓会／挨拶

JABM 会長 芳賀 美次

会員の皆様、改めまして 明けましておめでとうございます。
本日は、ご多忙のところ賀詞交歓会にご参加いただき、ありがとうございました。

日頃より会員の皆様、役員の皆様、そして特に技術委員と企画委員の皆様の積極的なご支援とご協力のお陰で、協会運営も大変スムーズに行われております。
この場をお借りし、心より感謝申し上げます。
さらに、先程は、「新春公開セミナー」でご講演していただきましたが、講師の皆様におかれましては、大変貴重で有益なお話、有り難うございました。

さて、恒例になりましたが、年頭にあたりまして、一言、協会の活動状況と当協会が集計致しました、2010年度のボンド磁石の生産推定をご報告致したいと思っております。

まず、活動状況であります。2010年度も「会員の皆様にお役に立つ協会」を目指して、5月と9月には技術例会を行い、12月にはシンポジウムを開催しました。講演会のテーマは、会員の皆様に関心が高いと思われるもの、新規で重要であると思われるものを、技術委員会で検討・厳選して決めました。これらの講演会に参加していただいた人数は、昨年は330名程度でありました。

次に企画委員会が担当する、新春公開セミナーは、昨年は、「研究開発の進め方・考え方」にスポットを当て、講演していただきましたが57名の方々に聞いていただきました。また、12月2日の「世界ボンド磁石生産推定討論会」も、企画委員会の主催であります。近年ボンド磁石の海外生産移転やコンプライアンスなどで正確な統計をとることが益々困難になってきており、企画委員も大変ご苦労されているところであります。しかしながら、ボンド磁石の生産出荷統計は、世界中どこでも行っておりませんので、当協会は、困難ではあります。今後も継続して行うことにしております。

次に、勉強会の「寺子屋BM塾」であります。浜野塾長の企画と技術委員の協力で行われております。昨年は、小型モータについては、技術コンサルタントの谷腰欣司様にお願ひし、また、元日立金属の徳永様には、ネオジム焼結磁石について教育していただきました。昨年は、計5日間行いましたが、大変盛況で参加者は、のべ270名でありました。またこの時の会場は、東陽テクニカさんの川上さんが、大変すばらしいセミナー室を無料でお貸しいただきました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

次にBM News に関する件ですが、昨年は、経費節減の一環として、BMニュースのコストダウンを目的に、現在の冊子をCD化することも検討しました。その結果、さらに研究を要すること一部の会員のご意見を伺いますと、短兵急な実施には、問題もある様でしたので、今回の実施は取り敢えず中止することにしました。

以上が事業活動の概略であります。

続いて、2010年度のボンド磁石の生産推定を簡単にご報告致します。
この集計は、企画委員会が行い、吉田企画委員長が中心になってまとめていただいたものです。

まずここ数年のボンド磁石の生産を見てみますと、2008年後半から大幅に減少した後、2009年は、低迷が続き、2010年は、大体2008年の水準に回復したと見られます。

それでは2010年度の集計結果をご報告します。日本国内に於ける生産は、重量では11,200トンで前年比131%、金額では、221億円で前年比137%の見込であります。

この数値に中国やタイなどで生産されている、日系企業の海外生産金額570億円（前年比249%）を含めると、合計791億円になり、前年比203%になると推定されます。この様な大きな伸びは、2009年が極端に悪かったことと、2010年に単価高いNdボンド磁石が大幅に伸びたためであります。

ボンド磁石の分野別では、フレキシブルボンド磁石が国内で2600t（前年比100%）、金額で19億円（前年比100%）でありました。

内容的には、OA分野で2008年レベルに戻ったが、回転・吸着雑貨分野は、まだ戻っていない状態にあります。

また、この分野では、中国の生産が伸びているようであります。さらに中国のフェライト磁粉の性能も良くなっており、日系メーカーは、苦戦を強いられております。

リジッドボンド磁石は、8000t（125%）、金額で105億円（125%）でありました。主用途であるレーザービームプリンターや複写機複合機のマグネットロールなどは、リジッドボンド磁石の約70%を占めると推定されますが、これは好調であった2008年並みでありました。一方モータなどの回転体は2008年より増加すると推定されます。

希土類ボンド磁石は、数量で600t（167%）、金額で97億円（167%）でありました。一方、世界的に見ますと、2010年のMQ-Pは、6000tを超えていると見られます。ちなみにMQI社の発表によると、2008年が4600t、2009年は、3944tであり、2010年の6000tは、驚異的な伸びでありました。

以上で ボンド磁石の生産推定値の報告を終わります。

最後になりますが、一昨年から昨年にかけて行った、当協会の技術例会やシンポジウムで、省エネ・高効率化・省希土類化モータの最新技術を講演していただきました。

今元気が無いと言われている日本ですが、テーマが定まり、やる気になるとこんな素晴らしい研究開発が出来るんだと、少々興奮気味で聞かせていただきました。

ほとんどが産官学協同でNEDOが絡んでおりました。私は今回のNEDOの働きは、大変素晴らしく、敬意を表したいと思っております。

今後、これらの研究成果を製品化するには、沢山の課題があると思っておりますが、関連する技術を有する会社が集まり、その要素技術と経営資源を持ち寄って、短期間に実用化して欲しいと念願しております。そして台頭する東アジアの国々に対し、実業団の選手ではなく、オールジャパンで対抗して「新しいメイドインジャパン」を増やし、そして、日本がもっと元気になって欲しいと念願しております。

当協会も、今年は、30周年を迎えますので、12月9日のシンポジウムは、会員の皆さんが元気が出るようなイベントにしたいと思っております。どうかご支援よろしく申し上げます。

以上、大変長くなってしまいましたが、これで終わります。
ご静聴有り難うございました。

以 上